

2025年度
海外研修・研究等助成金
募集案内

一般財団法人 企業経営研究所について

一般財団法人企業経営研究所は、1982年7月に、スルガ銀行の創立90周年を記念し、地域経済社会の新しい方向を模索し、中堅・中小企業経営の健全な発展、育成に寄与することを目的として設立されました。

当研究所では、設立趣意に則り、地域の中堅・中小企業の実証的調査研究や企業の戦略的行動に必要な情報の提供などを通じて、企業の健全な発展と育成に努めてまいりました。さらに、1996年4月より、国際交流支援事業として次の4つの事業を追加しました。

- 1.外国人・研修研究等助成事業
- 2.海外研修・研究等助成事業
- 3.国際交流功労顕彰事業
- 4.国際交流活動助成事業

これらの事業を通じて、地域経済社会の国際化に対応する人材を育成するとともに、人、物、情報、技術、文化などの内外の交流活動を積極的に支援しております。

- 名称 一般財団法人 企業経営研究所
- 設立 1982年7月26日
- 理事長 磯邊 剛彦(慶應義塾大学 名誉教授)

海外研修・研究等助成金について

この助成金は、以下のA、Bいずれかに該当する活動を実施し、その実施によって子供たちに夢や感動を伝え、分かち合うことを志す方を対象として助成するものです。

A：海外への渡航に基づいて行う活動

海外において技術、技能、知識等を修得または研究し、帰国後、教育の現場等でこれを活かす活動

B：海外への渡航を実施せずに行う活動

日本国内において、海外の技術、技能、知識等を修得または研究し、教育の現場等でこれを活かす活動

なお、Aにおける近年の助成対象テーマ、またBにおいて想定されるテーマ・内容の例は、別紙をご参照ください。疑問や不明の点は、当研究所までお問合せをお願いします。

2025年度 海外研修・研究等助成金 応募要項

助成の対象	1ページに示したA、Bいずれかに該当するテーマで、その実施によって子供たちに夢や感動を伝え、分かち合うことを志す趣旨・内容の活動 ※ただし、活動内容の大半が旅行会社の設定による既存の海外研修ツアーへの参加、または既存の研修プログラム等への参加にとどまる場合は、助成の対象となりません。
応募資格	静岡県内の小学校、中学校、特別支援学校、および高等学校等に常勤する教職員で、次の事項のすべてに該当する方を対象とします。 (1)申請した研修・研究活動についての実践意欲が旺盛と認められる方 (2)原則として年齢55歳以下、勤続3年以上の方 (3)勤務先学校長の推薦が得られる方 ※なお、各学校において複数名の応募(推薦)をいただいても結構です。
助成金交付額	1件当たり上限50万円(原則として一括交付)
助成対象となる費用	研修費、滞在費、渡航費、国内交通費その他活動の実施に必要な諸費用
助成対象期間	12ヵ月以内(原則として決定通知後9ヵ月以内に研修開始)
応募方法	下記の必要書類を当研究所まで郵送で提出してください。 (1)助成金交付申請書(所定様式による※) (2)勤務先学校長の推薦書(所定様式による※) ※上記の所定様式は、当研究所ウェブサイトよりダウンロードできます。 URL: https://www.srgi.or.jp
採用予定数	若干名(前回実績 4名)
募集締切	2025年5月31日(土) 締切当日消印有効
選考	(1)当研究所の選考委員会にて審査・選考のうえ、理事長が決定します。 (2)選考結果は、2025年6月中旬～下旬に、書面にて申請者・推薦者宛通知する予定です。
提出義務	助成対象となった方には、対象となる活動の開始時ならびに終了後、以下の書類を提出していただきます。 (1)研修開始通知書 (2)研修報告書・助成金使途報告書 (3)レポート
申請書提出先 (お問合せ)	一般財団法人企業経営研究所 国際交流支援事業 事務局 〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町スルガ平2200 TEL: 055-988-5020 FAX: 055-988-5021 E-mail: webmaster@suruga-institute.jp

一般財団法人 企業経営研究所

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町スルガ平 2200

TEL:055-988-5020 FAX:055-988-5021

E-Mail:webmaster@suruga-institute.jp

URL:<https://www.srgi.or.jp>

A(海外渡航あり)：近年の助成対象

2024年度

- ・マレーシア・ボルネオ島の生物多様性ホットスポットにて
～保全と持続可能な開発と観光の現状と問題点の検証～
- ・不登校児童解消に向けたSEL(social emotional learning)教育の導入と期待
～先進国スコットランドの視点から学ぶ～
- ・生涯にわたって音楽を愛好する人をつくる音楽教育とは ～イタリアの音楽教育の現場から学ぶ
- ・アメリカ・カナダの高校における多様性への対応 ～日本でのダイバーシティの実現に向けて～

2023年度

- ・アフターコロナのグローバル人材育成 ～海外留学支援体制の再構築と水産物市場動向調査～
- ・タイの中等教育におけるSTEAM教育の普及方法を探る
- ・子どもも教師もウェルビーイングな学校づくりとは
～ドイツ及びデンマークの教育現場から教育課程を見つめ直す～
- ・刺繍の歴史を訪ねて ～英国伝統刺繍～
- ・「フィンランドのインクルーシブ教育」～障害と共存するための支援モデルやCo-teachingから学ぶ

2019年度

- ・高等学校へのSTEM教育導入により養成される、自主的・創造的能力獲得への期待
- ・「New idea New tech」未来教育指数世界第1位の未来的で総合的な教育システムを学ぶ
- ・LGBT教育を先進諸国から学ぶ ―先進国スウェーデンの視点から―
- ・Ethnomathematics(民族数学)による多文化性を学ぶ数学プログラムの開発に関する研究

2018年度

- ・海外高校との持続的な連携事業の構築 ～相補的な国際交流に向けて～
- ・スウェーデンの教員から多忙化解消策と実践的英語力を高める指導法を学ぶ
- ・生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業作り
～オランダのイエナプラン教育から学び合い学習を学ぶ

B(海外渡航なし)：近年の助成対象その他

2023年度

- ・海外高校生とのSTEM研究発表会を通じたイノベーティブなグローバル人材の育成

上記以外に想定されるテーマについて(例示)

- ・国内外または地域における多文化共生、国際理解およびそれに関連する取組
- ・特定の国・地域を想定したテーマ学習(当該国・地域の社会・文化の理解)
- ・特定の分野(社会経済、自然科学、歴史・地理、文化等)における海外諸国とわが国の現状、共通点・相違点とその背景等についての理解や学習等

具体的内容について(例示)

- ・授業等におけるプレゼンテーション、子供たちの自主的な学習(ワークショップなど)や成果発表
- ・オンライン等による国内外の学校・団体等との情報交換や交流活動
- ・部活動、クラブ活動等における学習や実践
- ・学校全体や地域住民等を含めたイベント
(ただし、子供たちの学習や活動がイベントの主な内容になっていることが求められます)
- ・国内諸関係先への訪問(オンライン含む)による資料・情報収集等

(※上記以外のテーマ・内容についても申請を受け付けます。ご不明の際は当研究所へお問合せください)